

厚木市

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）報告書
（令和元年度）

令和3年3月

厚 木 市

I 厚木市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の概要

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の規定に基づき、地球温暖化防止の推進を図るため、厚木市役所が事務事業を実施することに伴い排出される温室効果ガスの削減することを目的としています。

1 計画期間

計画の期間は、2018（平成30）年度から2020（令和2）年度までの3年間です。

2 対象範囲

全ての事務事業。ただし、外部の委託や指定管理に係るものは除きます（指定管理施設におけるエネルギー使用は対象です。）。

3 算定対象となる温室効果ガス

削減目標として対象とするのは二酸化炭素（CO₂）としています。

4 目標

基準年度を2013（平成25）年度とし、2020（令和2）年度に9%の削減を目標としています。内訳は次表のとおりです。

【CO₂削減目標】

単位：t-CO₂

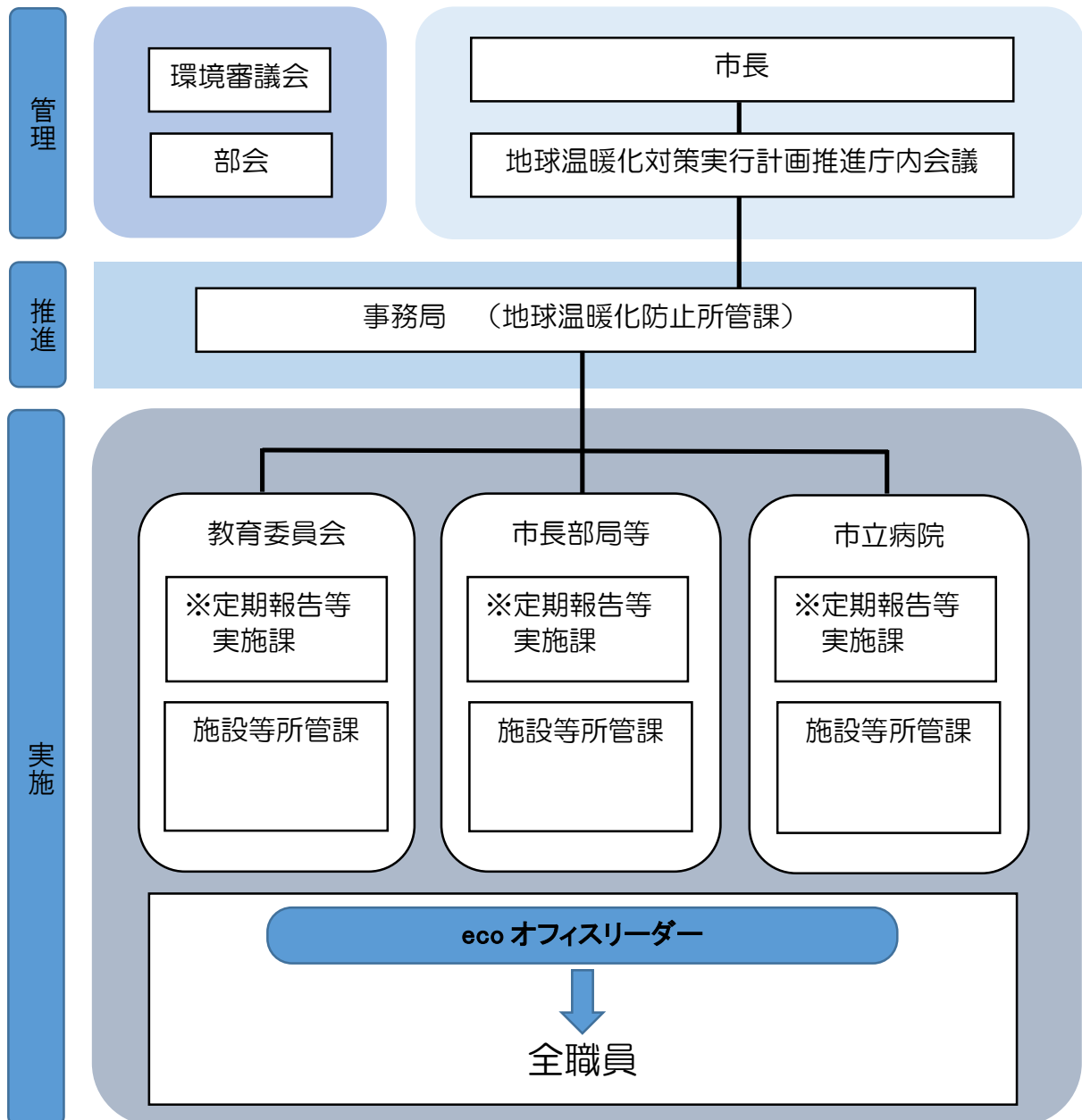
		実績		目標	
		基準年度 2013（H25）	達成年度 2020	削減率	
総排出量		52,271	※47,556	▲9%	
内訳	エネルギー起源	19,073	18,119	▲5%	
	廃棄物起源	33,198	29,546	▲11%	

※ 内訳の合計数値ではなく、9%の削減率を達成した場合のCO₂排出量を表しています。

5 事務事業編の推進体制

本計画は、全庁的に取り組む必要があるため、次の組織体制によって推進していくこととしています。

【地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進組織図】



※ 定期報告等実施課とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく定期報告書や地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス算定排出量等の報告書など本計画に関連する事項を取りまとめて国の機関等に報告している課のことです。

II 進捗状況

1 CO₂排出量

令和元年度の総排出量は、基準年度比+3.6%となっており、昨年度に比較すると大幅に削減（昨年度は、総排出量 62,715t-CO₂）されたものの、目標達成には一層の取組強化が必要になります。

【CO₂ 排出量】

単位：t-CO₂

		基準		実績	
		基準年度 2013 (H25)	実施年度 2019 (R1)	割合	
総排出量		52,271	54,178	+3.6%	
内訳	エネルギー起源	19,073	19,468	+2.1%	
	廃棄物起源	33,198	34,710	+4.6%	

2 CO₂排出の内訳

(1) エネルギー起源

エネルギー起源のCO₂排出は、施設の運営により排出されるものと、車両の走行により排出されるものがあり、内訳は次のようになっています。

ア 施設

部局ごとに取りまとめた結果、前年度と比較して減少しています。市立病院は、基準年度と比較すると増加していますが、H29 から施設規模を拡大した新病院施設としてオープンしたためであり、直近3か年の比較では削減の傾向が続いています。

全体として削減された主な原因の一つとして、電気事業者の排出係数の減少が考えられます。本市との協定により市内メガソーラーの電力を供給しているオリックス㈱の場合、平成30年度と令和元年度では、0.000544t-CO₂/kWh に対し、0.000485t-CO₂/kWh と 10.8%減少しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により、小中学校の臨時休校や公共施設の閉鎖、事業の中止などの影響があったものと考えられます。

公共施設におけるエネルギー使用に伴う二酸化炭素 (CO₂) 排出量

単位：t-CO₂

	基準 (H25)	H29	H30	R1
市長部局	8,920	8,564	8,874	8,206
教育委員会	6,397	6,562	6,740	5,593
市立病院	3,107	6,229	5,739	4,994
合計	18,424	21,355	21,353	18,793

イ 車両

公用車については、基準年度のCO₂排出量から増やさないことを目標としていますが、増加傾向にあります。

基準年度に比べ走行距離は減っていますが、CO₂排出量の多い軽油車の走行距離が増えたことにより、全体的な燃費が悪化したことが原因です。

今後は、これまで以上にエコドライブに努め、燃費の向上を図っていく必要があります。

公用車使用に伴う二酸化炭素(CO₂)排出量 単位：t-CO₂《軽自動車を除く》

	基準(H25)	H29	H30	R1
台数(台)	214	208	216	211
(電気自動車の内数)	(4)	(6)	(5)	(5)
走行距離(千km)	1,205	1,121	1,184	1,146
(電気自動車の内数)	(16)	(22)	(23)	(24)
CO ₂ 排出量	649	649	668	675

(2) 廃棄物起源

廃棄物起源のCO₂排出とは、環境センターで処理する可燃ごみに含まれるプラスチックが焼却される際に排出されるものです。

なお、CO₂の排出量は、ごみの焼却量にプラスチックの含まれる割合を掛け合わせることで推計します。プラスチックの含まれる割合は、年4回検査することで実態に近い割合を把握することとしています。

平成30年度においては、この割合が0.2945と例年より高かったため、CO₂排出量が大きくなっています。令和元年度は、割合が0.2443と平常並みに戻ったため、減少したものです。

廃棄物起源のCO₂排出は、市民が排出するごみを減らすことが重要であることから、今後ごみ減量及び分別の徹底のために取組を進めていきます。

廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素(CO₂)排出量 単位：t-CO₂

廃棄物起源	基準(H25)	H29	H30	R1
CO ₂ 排出量	33,198	25,943	40,694	34,710

Ⅲ 取組状況

市の事務事業に係るCO₂排出削減の取組のうち、定量的に把握できる取組について結果を紹介します。

1 再生可能エネルギー設置施設及び発電量

市の施設に設置している再生可能エネルギーは次の通りです。

施設名	出力 (kW)	発電量 (千 kWh)			稼働開始 年度
		H29	H30	H30	
環境センター (廃棄物発電)	1,200.0	9,360.1	8,718.2	8,784.2	昭和62年度
環境センター	2.1	計測不能			平成20年度
荻野公民館	20.7	23.5	24.3	25.4	平成22年度
ふれあいプラザ	1.1	1.2	1.2	1.0	平成23年度
斎場	20.4	23.4	22.9	22.2	平成24年度
七沢マイクロ水力 発電所	0.2	計測不能			
飯山小学校	85.7	99.6	96.9	91.9	平成25年度
南毛利中学校	38.0	37.7	36.4	48.8	
メジカルセンター	6.8	8.6	8.4	8.2	
依知分署	5.7	7.2	6.5	7.4	
緑ヶ丘小学校	15.3	16.6	16.2	16.1	平成26年度
市立病院	50.5	57.8	58.9	56.9	平成27年度
藤塚中学校	16.3	21.3	21.0	13.3	
鳶尾小学校	15.6	18.4	18.6	17.9	平成28年度
玉川中学校	16.3	18.6	19.6	7.0	
厚木南公民館	20.0	27.4	25.5	27.9	平成29年度
相川中学校	16.0	-	2.5	12.0	平成30年度
三田小学校	16.6	-	9.9	22.2	
郷土博物館	20.5	-	6.3	25.0	
戸室ハイツB	11.0	-	1.2	12.7	
合計	1,578.8	9,721.4	9,094.5	9,200.1	

※市立病院は、平成28年度に26.5kWの増設を行っています。

※玉川中学校及び藤塚中学校は、計測器の故障により、一部記録が計測できていません。

2 グリーン購入の実績

グリーン購入調達率は、過去3年間の平均で約36%となっておりますが、やむを得ず非適合品を購入したものを除いた市独自の集計方法では、過去3年間の平均で約73%の購入率になります。

独自集計でのグリーン購入率は、平成28年度から平成30年度まで3年間を通して8割を超え、高い水準を維持しておりましたが、令和元年度においては、古紙が市場に出回らず、紙類の単価契約物品をグリーン購入できなかったため、約53%でした。令和2年度については、古紙が市場に戻り、紙類のグリーン購入調達率の回復が見込まれます。

	H29年度	H30年度	R1年度	H29年度	H30年度	R1年度
集計方法	通常集計			独自集計		
紙類	70.50%	79.30%	9.90%	87.10%	81.00%	10.90%
文具類	68.20%	69.40%	63.20%	69.90%	78.40%	67.90%
オフィス家具等	75.50%	92.50%	69.40%	79.30%	94.20%	72.70%
OA機器	17.90%	29.40%	15.90%	94.70%	98.30%	83.40%
家電製品	0.00%	35.00%	27.10%	0.00%	81.90%	31.20%
エアコンディショナー等	購入なし	0.00%	購入なし	購入なし	購入なし	購入なし
温水器等	購入なし	購入なし	購入なし	購入なし	購入なし	購入なし
照明	91.30%	92.80%	88.2%	96.20%	94.60%	88.8%
自動車等	0.00%	購入なし	購入なし	購入なし	購入なし	購入なし
消火器	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
制服・作業服	20.00%	16.40%	21.50%	32.30%	22.50%	50.50%
インテリア・寝装寝具	0.00%	購入なし	0.00%	0.00%	購入なし	0.00%
作業手袋	42.70%	19.00%	0.00%	46.90%	23.5%	0.00%
設備	100.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%
合計	39.60%	45.20%	22.80%	81.60%	85.40%	53.30%

※ 集計方法 独自のグリーン購入率

購入予定物品にグリーン購入の適合商品が無いため、やむを得ず非適合品を購入したものを購入の分母から除いた購入率で厚木市独自の指標。

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）報告書
（令和元年度）

令和3年3月

発行 厚木市

編集 厚木市環境農政部環境政策課

〒243-8511 厚木市中町 3-17-17

電話 (046) 225-2746

ファックス (046) 225-1668